

乾燥の原因…皮膚の水分はどこから供給される？

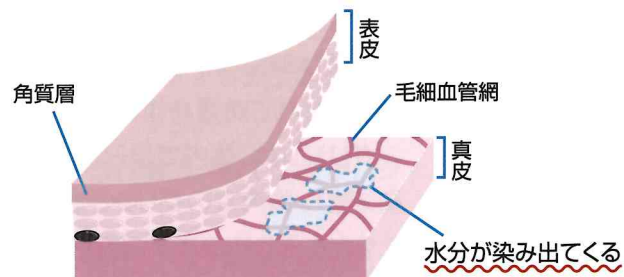


真皮は丈夫な膜で、その体内側(皮下組織)の水分は、真皮を越えて蒸発することはありません。「乾燥肌で困っています」などの悩みは、「表皮が乾燥する」ということです。では、その表皮、つまり、胚芽細胞から角質層に対して、水分はどこから供給されているのでしょうか？

答えは、真皮の表面に網タイツ上にネットワークを作っている毛細血管から染み出てくるのです。

この毛細血管から表皮に必要な水、酸素、栄養分が送り届けられるのです。

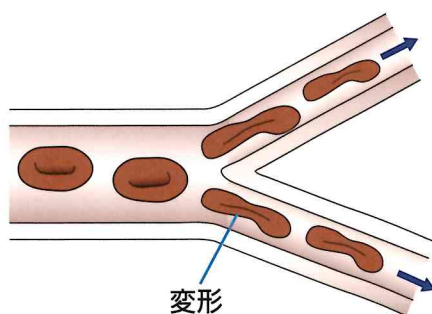
この毛細血管からたくさん染み出てくれば、表皮に水がたくさん供給されます。ちょっとしか染み出なければ、水は少ししか供給されません。寒い日は、体温を失わないように、この真皮表面の毛細血管の血流が減ります。だから、湿度の問題もありますが、水分供給量が減って、冬は乾燥しやすいのです。



ところで、皮膚の毛細血管の内径は、平均 $6\mu\text{m}$ です。そして、酸素を運ぶ赤血球の直径は、 $7\sim 8\mu\text{m}$ です。赤血球のほうは毛細血管の内径より大きいのです。赤血球はなぜ、毛細血管に詰まらないうで流れていくことができるのでしょうか？

実は、赤血球は、変形する能力を持っているのです。変形する能力が強いとグニャリと変形して、毛細血管の中をすいすいと流れていきます。変形する能力が弱いと、毛細血管には引っかかりながら流れていきます。

この差(赤血球の変形能力の差)も、表皮への水分供給量の差になって現れます。



ポイント

- ◆青魚成分のEPAは、赤血球の変形能力を高めます。EPA体質の人は肌が乾燥しにくく、アラキドン酸体質の人は肌が乾燥しやすくなります(詳細は、予想医学検定3級へ)。